地すべりボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　柳津地区地すべり対策砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor No.1	調査位置	広島県福山市柳津	北　緯	34° 26′ 34.7446″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成31年 4月22日～平成31年 4月26日	東　経	133° 15′ 50.4595″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 33.48m	角度	180°（上）～ 90° ～ 0°（下）	方向	0°北 / 270°西 / 90°東 / 180°南
総削孔長	20.00m	地盤勾配	0°（水平）～ 90°（鉛直）	使用機種	試錐機：YBM製05型 / エンジン：ヤンマー(株)製 TF-70V型 / ポンプ：YBM製GP-5型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名／現場土質名（模様）	工学的地質区分名／現場土質名	色調	風化の程度	変質の程度	破砕度	硬軟・相対稠度	相対密度	記事
	33.18	0.30		表土	淡褐灰				E		礫質粘土
1～5	28.18	5.30		泥岩	淡褐灰	w5	h4		E		砂質粘土状を主体とする 所々固結短棒状コアで採取されるが，指圧でシルト質砂状となる GL-3.8m以深は固結度がやや高く岩組織は明瞭である GL-5.0～5.3m　脆弱な砂質シルト GL-2.0～3.0m間は粘性土分が多い
						w5	h4		D		
6～8	25.48	8.00		砂質泥岩	褐灰	w5	h3		D		硬質な短棒状～片状コアが部分的に認められるが，全体的に固結したシルト質砂状のコア主体 岩組織は認められる 亀裂が多く粘土を挟む
9～10	22.68	10.80		泥岩	暗灰	w4	h3		D		風化し暗灰色の短棒状～片状コア主体 固結しているが全体的に脆い 部分的に粘土を挟む GL-9.6～10.7m　脆弱な砂質シルト状
11～14	18.78	14.70		泥岩	青灰	w3	h2		C		短棒状～片状コア 全体的に風化しハンマーの打撃で粉砕する 亀裂が多く粘土を挟む 全体的にコアは脆いが明瞭なすべり面粘土は認められない
15～20	13.48	20.00		泥岩	青灰	w3	h2		B		比較的新鮮で硬質である 亀裂が短棒状コアを主体とする 亀裂面には部分的に茶褐色の流入粘土がみられる GL-15.1m付近，18.2m付近，逸水あり

標準貫入試験

深度―N値図

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	2	3	4	9/300		
	1.45						
14	2.15	4	5	5	14/300		
	2.45						
46	3.15	10	15	21	46/300		
	3.45						
42	4.15	12	17	13	42/300		
	4.45						
46	5.15	12	16	18	46/300		
	5.45						
50以上	6.15	15	19	16	50/270	270	
	6.42			70			
24	7.15	8	6	10	24/300		
	7.45						
50以上	8.15	29	21		50/150	150	
	8.30		50				
50以上	9.15	21	20	9	50/230	230	
	9.38			30			
50以上	10.15	25	20	5	50/220	220	
	10.37			20			
50以上	11.15	40	10		50/120	120	
	11.27		20				
50以上	12.15	33	17		50/180	180	
	12.33		80				
50以上	13.00	29	21		50/140	140	
	13.14		40				
50以上	14.00	28	22		50/150	150	
	14.15		50				
50以上	15.00	36	14		50/130	130	
	15.13		30				
50以上	16.00	50			50/20	20	
	16.02	20					
50以上	17.00	50			50/20	20	
	17.02	20					
50以上	18.00	貫入不能			50/0	0	
					0		
50以上	19.00	貫入不能			50/0	0	
					0		
50以上	20.00	貫入不能			50/0	0	
					0		

原位置試験	室内試験	作業日毎の孔内水位 削孔月日	孔内水位 作業後/作業前(m)	ケーシング下端深度(m)	孔壁保護 孔径(mm)	種類	実施理由	地下水検層方法(自/浅)	保管	削孔状況 コアチューブ・ビット	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
		4/23		5.00	66	B2	崩壊			S/MC	W1/0	0
						B2	崩壊			W/D	W2/10	10
		4/24	0.15	9.00		B2	崩壊			W/D	W2/10	10
		4/25	7.28	15.00		B2	崩壊			W/D	W2/10	10
		4/26	8.84	17.00		B2	崩壊			W/D	W2/10	10
					66					W/D		